

令和 5 年度日本道路協会会長奨励賞

自らの創意工夫を加え、その後の業務遂行に多大な成果をあげた若い技術者を表彰し、道路技術の進展に寄与することを目的として、平成 26 年度より「日本道路協会会長奨励賞」を開設いたしました。

各関係機関を通じて候補者の募集をしたところ、22 件の応募があり、令和 5 年度の受賞者は以下の方々に決定致しました。

受賞者 中田 諒 氏, 鹿嶋 孔哉 氏

勤務先 阪神高速道路株式会社

功 績 阪神高速 14 号松原線喜連瓜破橋更新工事きれうりわりばしにおける既設橋梁の撤去において、撤去のほとんどを空中で完結させる初の工法を受注者と共同で開発し、橋下の国道交差点への影響を最小限にとどめられました。また、各管理者に対して対策の積極的な提案等を行うとともに、地域住民や地域・社会にむけた、様々な手段による説明と継続的な情報発信により、円滑な工事の推進に貢献されました。

受賞者 VICTOR MAINA (ヴィクター・マイナ) 氏

勤務先 株式会社 IHI インフラシステム

功 績 インドにおけるムンバイ湾横断道路建設事業のデザインビルド工事において、ジョイント・ベンチャーの設計責任者としてプロジェクトを主導し、4 か国に分散した工場への生産情報の調整・提供や工事途中で顕在化した橋脚位置変更という課題に対して、関係部署と迅速かつ綿密な調整・提案を行い全体行程の確保に努めるなどにより、ムンバイのインフラ整備に貢献されました。

受賞者 香川 寛 氏, 田中 恵介 氏

勤務先 京都市役所

功 績 三条大橋補修・修景事業及び三条通無電柱化事業において、様々な広報手段による事業の周知、デザイン検討会議の設置による住民・学識者の参画、上水管更新工事や民間建築工事等との工事調整、沿道商店街への協力要請等に尽力され、地域住民・企業等との連携・協働、行政及び地元の負担軽減を実現し、良好な景観を半世紀ぶりに再生するとともに都市防災機能の向上に貢献されました。